



RI 第 2530 地区 県北第 1 分区 2016-2017 年度

# 福島南ロータリークラブ会報



RI 会長 ジョン F. ジャーム テーマ「人類に奉仕するロータリー」

RI 第 2530 地区ガバナー 佐久間 英一

福島南ロータリークラブ 会長 佐久間 功 幹事 横山 りつ子

目標「明るく、元気に広がる奉仕の輪」

平成 28 年

## 9 月 7 日 (水)

例会会場：福島サンパレス

### 第 9 回 例会

会員 / 75 名 出席 / 55 名 出席率 / 73.33%

メイクアップ / 20 名 修正 / 75 名 修正率 / 100.0%

2016-2017 年度 福島南ロータリークラブ会長

### 会長挨拶 会長 佐久間 功



9 月に入りました。今月の RI のテーマは、基本的教育と識字率向上月間です。本日は、成蹊高校生徒への福島南ロータリークラブ奨学金の授与式があります。

この奨学金は、2010 年、クラブ創立 40 周年記念事業の一つとして、第 40 代黒羽会長の時に始まり、今回で 7 年目になります。勉学に励みながらも経済的支援が必要な学生を対象として行われてきました。奨学生には、将来の夢があると思います。その夢がかなうよう日々の自己研鑽に努めて頂きたいと思います。

ところで、10 月 7 日には、佐久間英一ガバナー歓迎晩餐会が二本松市の二本松御苑にて開催されます。善方ガバナー補佐より、当クラブからの参加要請が 25 名以上となっています。交通手段は、バスにしたいと思います。できるだけ多くの会員の皆様のご参加をお願いします。ご案内は、後程、FAX が届きますのでよろしくお祈りします。

この後、先日開催された、米山記念奨学会委員会セミナーと国際奉仕委員会セミナーへ参加された方々から報告があります。よろしくお祈りします。出席された方はありがとうございました。

例会後半には、新会員宍戸隆司さんのスピーチがあります。どんなお話が聞きできるか楽しみにしております。

最後に、今月の RI のレートは 1 ドル 102 円です。

### 9 月 14 日 (水) のプログラム

- 12:30 ①開会点鐘
- ②ロータリーソング「奉仕の理想」
- ③4つのテスト・行動規範の唱和
- ④来訪者紹介と会長挨拶
- ⑤ロータリーの友読みどころ
- ⑥米山奨学金授与
- ⑦誕生日のお祝い  
おめでとうシャワー  
誕生日の歌  
誕生者 1 分間スピーチ  
写真撮影
- ⑧スマイリング BOX の報告
- ⑨お食事をどうぞ
- ⑩幹事報告
- ⑪地区米山カウンセラー研修会報告
- ⑫新会員スピーチ
- ⑬各委員会報告
- 13:30 ⑭閉会点鐘

### 今後のプログラム

- 9月21日 (水)  
ゲストスピーチ  
日本銀行福島支店長 中尾根 康宏 様
- 9月28日 (水)  
移動例会 福島市保健福祉センター  
乳幼児食育支援プロジェクトフードモデル贈呈  
例会終了後 贈呈式 (市役所・市長室 PM2:00-)

### 地区情報・第一分区・関連情報

- 9月16日 (金)  
地区大会記念ゴルフコンペ
- 9月19日 (月)  
福島南 RC ゴルフコンペ (ボナリ)
- 9月24日 (土)  
RI 会長代理歓迎晩餐会 (華の湯)
- 9月24日 (土)  
会長・幹事会、指導者育成セミナー
- 9月25日 (日)  
地区大会・本会議 (ユラックス熱海)
- 10月4日 (火)  
第 4 回会長幹事会 (二本松)
- 10月5日 (水)  
ガバナー公式訪問
- 10月5日 (水)  
パスト会長会・指名準備委員会 (夜間)
- 10月7日 (水)  
ガバナー歓迎晩餐会 (二本松御苑)
- 10月22日 (土)  
地区社会奉仕委員会セミナー (ユラックス熱海)
- 10月22日 (土)  
猪苗代湖・漂着水草除去回収作業



福島南 RC 奨学金授与及び奨学生認定書授与

### 「わたしの夢」作文発表



#### 1 年生 黒澤さん作文

私の夢は「看護師」になることです。様々な病気を持っている方々に、私が看護することで、少しでも楽になってもらうことです。高校生活でも、勉強・部活で頑張り、大学に行けるよう頑張っています。



#### 2 年生 三浦さん作文

私の夢は「プランナー」になることです。イベントや演出などを考えるプランナーになりたいと思っています。現在は 9 月 18 日に行われる定期演奏会に向けて、演出係を担当しています。定期演奏会や、文化祭を通し、仲間と内容を考えることが楽しくて、プランナーになりたいと考えました。今は高校 2 年生ですが、大学進学に向け、勉強と部活に頑張りたいと思います。



#### 3 年生 大友さん作文

私の夢は「小学校の教師」になることです。そのきっかけは、子供が好きなことと、私の母が小学校の教師であるからです。母は毎日、忙しいことや大変なことがあっても、家で学校であったことを楽しく話しており、私も教師になりたいと思うようになりました。私は夢を実現できるように、大学に進学し、頑張っていきたいと思っています。



### 地区米山記念奨学会委員会セミナー報告 米山記念奨学会委員会 菅野 和宏 委員

米山梅吉翁は社会奉仕活動で、大正 9 年 (1920) 日本に初めて国際ロータリーの思想を導入。東京ロータリークラブを創立し初代会長に就任。国際ロータリースペシャルコミッショナー、ガバナーをつとめ、日本ロータリーの父と仰がれている。また青山学院に緑岡小学校、同幼稚園を設立寄付、郷里の長泉村に米山文庫 (図書館) を寄付するなど、生涯を通じて国際奉仕、社会奉仕の道を貫きました。2016 年 7 月 31 日現在「寄付金納入明細 54,510,279.273 円」となっております。



### フードモデル贈呈について 社会奉仕委員会 鈴木 洋子 委員

国際ロータリー第 2530 地区 地区補助金を申請して、2016-2017 年度福島南ロータリークラブは、乳幼児食育支援プロジェクトを計画しました。9 月 28 日福島市保健福祉センターに於いて、移動例会のあと、市役所市長室にて乳幼児健診用フードモデルを贈呈します。今回の予算は、地区財団補助金 ¥123,120 円、クラブ負担金 ¥369,360 円、計 ¥492,480 円となります。



### 新会員スピーチ 宍戸 隆司 会員

本日は、自己紹介の機会をいただき、ありがとうございます。7 月の例会にて皆様の承認をいただき、伝統と歴史ある福島南 RC の末席に身を置かせていただくことになりました株式会社旭電化の宍戸隆司です。ご存知の通り先代宍戸英男の後を継いでの入会となりますが、先代のような切れ者ではありませんのでご容赦のほどよろしくお願いいたします。自己紹介ということですが、私は宍戸英男の息子ではありません。宍戸英男との血縁関係とは申しますが、私の母と宍戸英男がいとこ同士であり、私にとっては大叔父ということになります。私は、昭和三十三年四月十二日に福島市矢矧町で四人兄弟の末っ子として生まれました。旭製版所が今の福島市太平寺に移転になり、私も清明小から杉妻小へ転校、そして一中、福島高から某無名私立大学へと順風満帆とは行かないまでも親を泣かせることなくやってきたつもりです。卒業後は某金融機関にてお世話になり、二男坊として平凡なサラリーマン生活を送るはずでしたが、宍戸英男には娘しかおらず、私へ後継者としてのお話が参りました。当の私は人の上に立てるような器ではなく、お断りしておりましたが、父母や兄からも進言され、昭和六三年二月に入社となりました。兎にも角にも何もできない私は英男社長を始め当時の役員・幹部の方には一方ならぬ苦勞とお世話をお掛けしました。特に英男社長には、忍耐強く見守っていただいたものと感謝しております。三十五歳の時に今の家内と結婚を致しました。子宝には恵まれて二女を授かりました。現在まだ学生で、上から大学四年、大学一年、高校二年です。現在会社は、優秀な社員のおかげで神輿の上に乗せていただいております。先代は創業者であり、人柄、実力とも申し分なく、社員の信任も厚く、到底追いつくことはできませんが、自分なりに模索しながらやって参りました。今般、福島南 RC の会員となり、皆様のご教授をいただき健全な経営を学ぶとともに奉仕の精神も培えればと思っております。最後に何分、還暦間近の歳でもあり、入会が遅すぎた感がありますが、ご指導宜しくお願いします。ご清聴ありがとうございます。

### ご挨拶 本田 哲朗 校長先生

福島南 RC 様からの奨学金は今回で 7 年目と長い期間、本校の為に賜り、厚く御礼申し上げます。今般の学生 3 人は、他の学生と比べましても、模範となる生徒であります。皆様のご期待に応えられるよう努力し、やがてはこの地域に尽力できる生徒と思っております。改めて、心より感謝申し上げます。成蹊高校は、海外の高校とも提携、交流を持っております。今後もインターアクトの指導ともどもよろしくお祈りいたします。



### 地区国際奉仕委員会セミナー報告 国際奉仕委員会 吉田 和義 委員長

国際ロータリー第 2530 地区国際奉仕委員会セミナーが 9 月 3 日 (土) 郡山で開催されました。参加者は佐久間英一ガバナー、菅野喜孝国際奉仕委員長を含む地区役員・事務局 15 名と地区内 59 のクラブより 65 名の総勢 80 名でした。(7 クラブが欠席しました)

#### セミナーの要点

1. 佐久間英一ガバナーより酒井ガバナー年度で地区 W C S 資金の残高約 308 万円が地区災害特別基金へ組み込まれたが、地区 W C S 資金として活用するため戻した。是非国際奉仕活動に使用してほしい。
2. 味戸道雄 P G より国際奉仕関係の補助資金源として地区 W C S 資金 (1 クラブ 50 万円以内、自己負担分 10%)、地区補助金、グローバル補助金 (R 財団の指定した 6 つの重点分野に沿った 3 万ドル以上の奉仕事業を、国内外の 2 つまたは数クラブのジョイント事業として事業計画書を作り R 財団に申請し承認を得れば条件により最大半額が R 財団から交付される) がある。
3. 梶野喜孝国際奉仕委員長より資金力の無い少人数のクラブでも補助金を活用して国際奉仕に挑戦して欲しい。

以上簡単ではありますがセミナー報告とさせていただきます。



野地 利雄会員へ委嘱状授与

国際ロータリー第 2530 地区「東日本大震災復興支援報告書製作委員会」より委員に委嘱されました。

事務局：〒960-8151 福島県福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2 号室 TEL025-546-3793 FAX024-545-7878  
HP：http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html MAIL：f-southrotary2530@inaka.ne.jp  
例会会場：サンパレス福島 〒960-8101 福島県福島市上町 4-30 TEL024-523-3811(代) FAX024-523-0375